

岩手山(網張スキー場から往復)

1991. 4/9(火) ~ 4/10(水)

馬場 単独

四月七日(日) 網張温泉館に泊まる。

4/8(月) 低気圧の通過で一日雨で休養日になってしまった。温泉に入り一日を過ごす。

4/9(火)、昨夜の天気予報では、午前中曇り午後晴れたので出発の準備をしてリフト乗場の駐車場に行った。霧がごく視界のメートル位で車の運転もライトをつけて降行していた。

晴れるまで車の中で今までのスキーツアの山行記録を書いて過ごす。午後一時頃急に青空が出て晴れたので途中で歩いて行くことにして出発する。リフトを三本乗り継ぎ終点に着く。シールを張りお昼にする。展望台を過ぎ三石山への分岐点を過ぎ大倉山に登り休憩し明日登る岩手山の様子を観望する。姥倉山の屋根は地肌が出て雪が無いようだ。岩手山の火口避も黒ずんで滑れそうもない。鬼ヶ城からの雪崩も心配だ。

時間も早いが往路を降りスキー場のゲレンデのさくらめ雪を降り今日は岩手山麓国民休暇村に泊まった。

4/10(水)

晴

昨夜の天気予報通り快晴で岩手山はじめ秋田駒八幡平の山々がくっきり眺めた。

朝食後リフト乗場に行き三本リフトを乗り継ぐ。リフトの係長がバトロール事務所へ登山届をおすようにと言われたので昨夜書いた登山届を提出する。

昨日通り犬倉山 1408M に登り 姥倉山の鞍部をぬぎ滑る。シールを着け姥倉山の山腹を斜登りして黒倉山との鞍部の岩場で休憩する。遠くに八幡平の田や山々がはつきり眺められた。黒倉山に登らず針葉樹の多い斜面を 1500M の尾根をぬぎトラスパスする。

シールを外し 大地が獄谷をぬぎ滑り降りる。ここで中年の単独行者に出会う。今朝東の登山口から登ってきたらしい。コースの様子も聞くと赤札の標式つ竹の橋があり鬼ヶ城からの雪崩の心配も無いとのことだった。安心して鬼ヶ城の岩場を右に眺めながら針葉樹の間を登行する。案外斜度が緩く岩手山の火口が近づく不動平も近くなり斜度も緩くなり不動平に着いた。小屋まで行くつもりが中止する。火口も雪が無いので滑れないのでここで休憩 待たせろり降り降りることにする。

登るのは大変だが滑るにつれて速く 御苗代湖に着く。シールを着 1500M の鬼ヶ城から速くなる尾根に登り針葉樹の斜面を降り過ぎ 終えて姥倉山の斜面を降り降りた。犬倉山に登らず巻いてスキー場に到着して温泉を浴び温泉に帰る。

明日、岳人に勧告された。下倉プラザスキー場から滝大岳のツアーする予定だったが十月間のスキーヤーを終り今平の定家に向って帰ることになった。

コースタイム

出発 8:30 → リバ终点 9:00 → 姥倉山と黒倉山のコル
10:00 → 地獄谷 11:00 → 不動平 12:00 ~ 12:40
→ 地獄谷 13:00 → 黒倉山のコル 14:00 → 駐車場 15:00

2-1 图

